

吉野川市教育委員会会議録

招集年月日 平成29年12月25日
招集の場所 吉野川市役所東館 3階 231会議室
開閉会日時 開会 平成29年12月25日 午後3時30分
閉会 平成29年12月25日 午後4時40分

出席委員 教 育 長 石川 邦彦
教育長職務代理者 川村 徳子
委 員 鹿兒島 康江
委 員 谷田 憲二
委 員 野田 賢
委 員 榎原 奈麻美

出席職員 副 教 育 長 藤野井 昭仁 副 教 育 長 伊藤 昭仁
教 育 次 長 松原 勲 教育総務課長 岡田 一則
学校教育課長 松本 和基 学校再編準備室長 片山 富造

議案

(1) 平成29年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について

報告事項

(1) 平成29年度12月議会定例会一般質問について

教育長報告

その他

会議の経過

石川教育長 ただいまから、吉野川市定例教育委員会を開会します。
委員5名が出席されており定足数に達しています。
前回の会議録の承認をお願いします。(前回会議録署名委員承認)
今回の会議録署名委員に、野田賢委員、鹿兒島康江委員を指名。
それでは、議案審議に入ります。
議案第1号「平成29年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について」を議題とすることにいたします。事務局より説明をお願いします。

岡田教育総務課長 議案(1)について、説明させていただきます。
1Pをお開きください。
「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(第26条)の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないこととなっています。
2Pをご覧ください。
平成28年度の教育委員について、記載させていただいています。
3Pをご覧ください。
教育委員会会議の開催状況について、記載しています。
教育委員会会議以外の活動状況についても、3Pから4Pにかけて記載しております。学校訪問・入学式・卒業式等について、記載しております。
5Pをご覧ください。
「3事業の評価」という項目です。
事業の評価は個々の事務事業ごとに行いますが、ここでは、事業の評価方法等について説明をしています。
まず、「(1) 評価項目」 ここでは、評価項目(必要性・有効性・効果性・目標達

成度) ごとの評価基準についての説明を記載しています。

次に、「(2) 総合評価」 ここでは、点数の付け方についての説明を記載しています。

評価の例として、あわせて9 Pを、お開きください。

一番下の段になりますが、評価項目における「増加」「十分にできている」を10点、「横ばい」「概ねできている」を5点としています。

そして、「減少」「できていない」は0点です。

総合評価は評価項目の合計点数で行いますが、合計30点以上がA評価、15点以上がB評価、10点以下がC評価となります。

そして、「(3) 事業の方向性」 ここで、評価結果を踏まえて、今後どのように事業を進めるかを選択することになります。

個々の事務事業の評価結果を一覧にまとめたものが、7 P・8 Pの表です。

なお、事務事業ごとの評価シートは、9 P以下にございますので、ご覧いただけましたらと思います。

以上です。

よろしくお願いいたします。

石川教育長 ただいまの件について、ご質問等ございませんか。

委 員 少年の森野外活動センター事業だけが「C」で、貸出件数が1件なのは、ここを使うのはお金がいるのですか。

松原教育次長 施設がかなり老朽化しておりまして、主に使っているのがキャンプ場になります。最近では、キャンプをされる方がなかなかいないので、キャンプするのに必要な炊事場も老朽化しているのが現状です。清掃作業は行っていますが、利用者もかなり少ないので、今後どうしていくか考えていかなければならない時期にきています。

藤野井副教育長 キャンプ場と鉄筋コンクリートの二階建ての建物がありまして、この1件は、青年会議所が何十周年かの記念で使った1回だと思えます。市としましても、老朽化していき、利用者も少ないので、廃止の方向に進んでいたところに、青年会議所の方が記念にということで利用していただいたので、なかなか廃止の方向に向いていけなかったという現状です。先ほど言いましたように、トイレや水道施設等についても非常に傷んでいますので、なかなか難しい状況で、建物自体も非常に老朽化しておりますし、土地を神社にお借りしていますので、そういうことも含めて、再度、方向性を決めていかなければいけないと思っています。

委 員 キャンプ場の立ち入りは、自由なんですか。今の状況として、子どもが入ったりとか、火遊びしたりというようなことはないんですか。

松原教育次長 出入りは自由ですが、そのようなことはないです。

委 員 昔であれば、子ども会関連でやっていたりしましたけれど、そういうのがなくなったわけですね。そういう事業に変わるものは今のところないですか。

伊藤副教育長 今は、キャンプをせずに、学校で何か子ども会で考えた行事、レクリエーション的なことをやっているのが実状で、ここに行ってキャンプをするというのは、やっておりません。

委 員 球技大会もそうですか。

伊藤副教育長 球技大会は今も続けております。それと、学校で何か調理をしたりとか、ゲームのレクリエーションしたりというのは、子ども会連合会の方は続けておりますが、少年の森は、利用しておりません。

石川教育長 かつては、子ども会等にここを使っていたのですが、使わなくなってから老朽化が激しくなり、使いづらい、使えない状況にあります。市としても、これをどうしていくのかが、この事業自体がもう無理なのかなと思います。

委員 無理だという状況が定着したのであれば、危ないからということで考えていかなければなりません。

石川教育長 ご意見ありがとうございます。
他に、何かございませんか。

委員 質問なのですが、この評価がAからCの3段階になってますけれども、もう少し細分化したAからDぐらいまでだったら、少しはわかりやすいかなと思うんですが。CとAでは違うというのがわかるんですが、CとBの違いが5点ですよね。重要だとか、今、使っている頻度とか考えて、AからDの5段階ぐらいにしていざいただいたら、検討するのにDから検討していけるというのがあっていいのではないですか。これ、評価はどちらで行うのですか。

岡田教育総務課長 自己評価になります。

石川教育長 これは、教育委員会独自のものですか。

岡田教育総務課長 教育委員会独自のものです。

石川教育長 総合評価に検討することはできるのですね。

岡田教育総務課長 可能です。

委員 その方が検討しやすいかなと思います。

石川教育長 他にはございませんか。

委員 特別支援教育支援員配置事業の説明をしていただけたらと思います。

松本学校教育課長 特別支援教育支援員配置事業は、17名の予算をいただき、それぞれの小中学校で介助とか体の不自由な生徒の支援をするという事業です。去年は、16名配置ができておりました。担任の先生の休み時間とか授業に入って、個別対応で支援するという事業です。

委員 16名ということは、学級とか学校とかでいうとどんな配置ですか。

松本学校教育課長 今、小中学校が18校あるんですが、16名ということで、配置できてない学校もあり、支援が必要な生徒が多い学校には2名、他は1名ずつ配置しております。

石川教育長 本来、県の加配事業ということで、特別支援の加配というものもあるのですが、どうしても人数が足りないということで、市独自の支援事業を立ち上げたものです。もう10年くらいになると思うのですが、委員の皆様からご意見をいただいて、できるだけ人数を増やしたいということで、ここ数年は毎年16～17名の予算の要望をしております。それぞれの学校の要望も把握したうえで配置をしています。補助や支援に入るといのが、主な役割です。

委員 幼稚園には、配置していますか。

伊藤副教育長 幼稚園には、配置はしていません。幼稚園にも違ったかたちで市の方から支援員として配置しているのですが、この事業には入っていません。

石川教育長 他に何かございませんか。

委員 吉野川市総合スポーツ運動場（野球場）改修工事ですが、4,003人も利用して事業費0円ですか。

松原教育次長 28年度は、まだ実施できていなかったもので、来年度に予算がついて改修工事することになります。実施していくということで「A」としています。

伊藤副教育長 改修工事はできていないが、利用人数はこれだけいましたということですね。

松原教育次長 はい。そうです。

委員 必要性が横ばいになっていますが、増えてはいないですか。

松原教育次長 人数的には、継続的に使われているので上下はありません。

委員 今後、増えるようなことはありますか。

松原教育次長 今、目一杯使われているので、増えるというのは難しいと思います。

石川教育長 改修工事をすれば、環境は非常に良くなります。

委員 その感じを点数で評価できたらいいですね。横ばいというと負の感じがします。

石川教育長 他に何かございませんか。
それでは、ないようですので、議案（1）「平成29年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について」は、承認することとして、よろしいか。

一同 異議なし。

石川教育長 異議なしと認めます。本案は原案どおり承認されました。
つづいて、報告事項（1）「平成29年度12月議会定例会一般質問について」事務局より説明をお願いします。

松本学校教育課長 12月の市議会の一般質問で学校教育課関係の質問は2件あり、伊藤副教育長が答弁いたしました。
塩田議員から、「ICT機器の導入及び活用状況、教職員の指導力向上研修、ICT支援員の活用について」の質問がありました。
ICT機器の活用状況につきましては、デジタル教科書を「ほぼ毎回活用している」と回答した教員の割合が小学校では75%、中学校で90%、「ICT機器をほぼ毎日活用している」と回答した教員の割合が昨年と比べて倍増していると答弁いたしました。
教職員の指導力向上研修につきましては、毎年継続的に「授業で活用するICT」をテーマにした教職員研修や、タブレット型パソコンにインストールしているアプリの活用研修を行い、さらに、次期学習指導要領に盛り込まれている「プログラミング教育」の研修会を予定していると答弁いたしました。
ICT支援員の活用につきましては、ICT支援員は、授業の合間にICT機器のメンテナンスやソフトウェアの設定作業や、子どもたちへの機器の操作方法の支援、機器トラブルの対応等を行っています。そのため、学校では、これまで以上に積極的にICT機器やデジタル教科書等を活用した、より分かりやすい授業が展開されています。

「今後は、ICT支援員の配置計画を工夫し、ICT機器の有効活用による子どもたちの学びを深めてまいりたいと考えております。」と答弁いたしました。

次に 相原議員から「特別支援学級と通級指導教室の状況と今後の取組について」の質問がありました。

「特別支援学級につきましては、平成29年度の本市におきましては、小学校で33学級、中学校では9学級を設置しておりますが、年々、特別支援学級の人数だけでなく学級数も増え、障がいの重度化や多様化も進んでいる状況であり、個々の特性に対応するために、教職員の指導力や資質の向上に努めたり、特別支援教育支援員を配置したりしているところです。」と答弁いたしました。

通級指導教室につきましては、鴨島小学校にLDと軽度の言語障がい等のある児童を対象とした2教室を設置しており、平成27年度から本市の川島小学校において、鴨島小学校の通級指導担当教員が「巡回による指導」を行っているところです。

「しかしながら、本市の中学校においては、通級指導教室が設置されていないことから、小学校での増設や中学校での新規開設等、さらなる拡充を、県教育委員会に対しまして要望を続けてまいります。」と答弁いたしました。

松原教育次長

工藤議員（5 文化財行政について）

(1) 芳川顕正伯の生家に係る予算は、文化財保護条例のどの規定に基づいているのかまず、「文化財保護条例に基づき、具体的な文化向上のためどのような取り組みを行っているのか」についてでございますが、国・県及び市指定文化財の天然記念物の保護活用や史跡周辺などの除草作業を実施し文化財の維持管理に努めております。

また、県及び市指定文化財の保護及び保存活動に対しまして各保存会等への補助金交付などにより、文化財保護に取り組んでいるところでございます。

次に、「芳川顕正伯の生家に係る予算は、文化財保護条例のどの規定に基づいているのか」についてでございますが、吉野川市文化財保護条例にあります、市指定文化財の管理または修繕に係る補助金交付については、文化財の所有者に対し補助することができる旨を規定しております。

芳川顕正伯の生家につきましては、1942年（昭和17年）に、当時の川田町に寄付された経緯がございます。

土地・建物は市が所有者となりますので、補助の対象にはならないことから、市の事業として生家の取り壊し及び史跡の整備を行うよう、予算計上をしているところでございます。

(2) 文化財案内冊子は、いつ発刊できるのか

文化財案内冊子の発刊につきましては、当初、平成28年度中に発刊する計画でございましたが、旧町村から引き継いだ市指定文化財について、文化財指定基準を策定した上で、各文化財の指定の見直しを実施するよう文化財保護審議会で決定し、市指定文化財の見直しが平成29年3月になったことから、平成29年度予算に再度計上したところでございます。

文化財案内冊子の内容については、昨年度より調査・編集を継続して実施しており、ほぼ発刊の見通しが立ち、今年度末には発刊できるよう取り組んでいるところでございます。

岡田議員（3 アリーナ併設多目的交流センター(仮称)について）

(2) 歴史資料室を設置する考えは

多目的交流センターの3階に整備する図書館の概要でございますが、約1,300㎡あるフロアーには、中央部に低書架、壁際には高書架を配置し、また、児童コーナーや読み聞かせコーナー、学習室のほか、閲覧コーナーを設けるなど、全体的には開放感があるオープン的なフロアー構成を計画しています。

このように、この度の図書館につきましては、読書環境の向上に繋がることを重点的に整備を進めております。

歴史資料室設置のご提案を戴いたわけでございますが、限られたスペースの中で、資料室設置までの整備は大変困難であると考えておりますので、ご理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

(3) 健康測定器具の設置と健康相談員を配置する考えは
健康測定器具の設置につきましては、血圧計や体脂肪計などの備品の設置を検討しておりますが、健康相談員の常駐勤務につきましては現在のところは考えておりません。
吉野川市では生涯スポーツ社会の実現に向けた、地域におけるスポーツ環境整備のための重点施策として「総合型地域スポーツクラブ」の設立をめざしています。
総合スポーツクラブでは、スポーツ競技に限らず、健康教室などの健康維持・増進を図る教室やイベントも計画しており、講師についてもスポーツインストラクター、医師など多種多様な人材を起用する予定です。
これらの活動に市民が参加していただくことにより、「まちづくり、ひとづくり、健康づくり」につなげていただければと考えています。以上のとおり答弁を行いました。

石川教育長 ただいまの報告事項について、ご質問等ございませんか。

委 員 I C Tの支援員の活用ということなのですが、支援員は技術者で、教育者ではないので、どの部分をどのように活用されるのですか。

松本学校教育課長 今年の支援員は、教員免許を持っているのですが、一人で授業をすることはなく、T 2というかたちで入ってもらって、担任の先生が授業するのを後ろから見て、子ども達が操作に困っていたらそこに付いて支援するということになります。授業の合間には、タブレットの準備をしたり、全てのタブレットが動くかどうかメンテナンスして下さったりもしています。

石川教育長 他に何かございませんか

委 員 I C T機器の活用状況について、I C T機器を活用している教職員の割合が昨年と比べて倍増しているというのは2倍になったんですか。

松本学校教育課長 去年、調査したところ、毎日活用しているとの回答が33%、今年は、小学校で60%越えていました。中学校で55%ぐらいです。

委 員 原因は何でしょうか。

松本学校教育課長 小学校は、I C T支援員を付けたのも大きかったと思いますし、算数のデジタル教科書が1年生から6年生まで入ったのがI C T機器を使う教職員が増えたのだと思います。中学校は、去年の2学期、教室にプロジェクターを付けてから急に増えました。それまでは、テレビをそのつど教室に持って行ってパソコンと繋いだりという作業が要ったのですが、昨年、プロジェクターを設置してからはワンタッチで使えるようになったことが要因ではないかと思います。デジタル教材が数学と英語だけなので他の教科の教職員は、自分で作ったデジタル教材を使っている先生もいますが十分使い切れていないので、40%という数字が出たのかなと思います。トラブルが続くと途中で使わずにというのもあるかもしれませんが、順調に進んでいる学校は、ほぼ50%を越えています。

石川教育長 学校訪問の時に見せてもらう、その時だけかと思っていたら、日頃から使っていて、利用度は非常に高くなっています。

伊藤副教育長 そうですね。実物投影機も、使いやすいので、効果的に学習活動を進めているようです。

石川教育長 それと、先生方が使えるように教育委員会としても教職員の研修に努めています。教職員の研修をできるだけ取り入れて、先生方にも早く馴染んでもらうように努めています。おそらく、もっと増えてきて、実際に使い始めたら、教職員にとれば便利だし、指導効果があると思います。
よろしいですか。

委員	文化財案内冊子は、印刷に入っているのですか。
松原教育次長	いえ、まだ最終の構成段階で、印刷は、今年度末になります。
委員	これ冊子は、どこに行ったら手に入るのですか。
松原教育次長	文化研修センター、公民館等、生涯学習課関連の施設に置く予定です。
石川教育長	他に何かございませんか。
委員	特別支援教育のことですが、最近ニュースで人権的差別を受けるので色覚検査をしてほしくないという意見があるのですが、若い方は、就職活動の時わかったので早めにしてほしいとか個人のニーズに合わせてしてはどうですか。
伊藤副教育長	色覚検査を以前はしていたのですが、人権的な配慮から検査項目から外されたのですが、今言われるように就職活動の時に不利益にならないようにと、また検討して、取り組めるところは取り組んでいます。
委員	個人的な人権意識も高まっているのですが、不利益にならないような対処をお願いします。
石川教育長	他に何かございませんか。 ないようですので、続いて、教育長報告を行います。 2学期の最終月ということで、各小学校で人権教育推進大会というかたちで子ども達の表現会がありました。案内をいただいた小学校に副教育長と相談しながら行かせていただきました。 前回の教育委員会後の行事は、徳島駅伝の吉野川チームの小学生選考会が25（土）山川のバンブーパークで、26（日）中高校生・一般の選考会を川島の城山の北側の土手で行いました。小学生選考会は、昨年は、参加者が女子が2名、男子5～6名と非常に少なかったのですが、今年は、男女とも多く参加していただきました。最後は競り合うような競争でした。翌日の中高校生・一般の選考会もたくさんの参加者がありました。今年も力が入っているなど痛感させていただきました。そして、その選考会の結果をふまえて、選考された選手の結団式を12月10日に市役所で行いました。今年は、教育委員の方に来ていただいたり、例年になく来賓の方、保護者の方、応援の方、たくさんの方に来ていただきました。ぜひ皆様に応援のほどお願いできたらと思います。 それから、12月議会定例会11月27日に開会し、12月4・5日が一般質問、7日が文教厚生常任委員会、15日が閉会で、さきほどのような質問等がありまして、無事に終了しました。 11月28日、第三回管区別教育長会が総合教育センターでありました。主に人事に関する説明会で、資料などいただきまして、各小中学校の先生方は1月に入りますと校長先生・教頭先生を中心として異動作業に入ってくださいることになります。委員の方々にもご意見いただけたらと思います。 12月9日、10日は、山川公民館祭、西麻植会館祭、こだま会館祭等もありました。12月11日ですが、新聞紙上でご存じかと思うのですが、安崎暁様という方で12年前に3,000万円の寄附していただき、10年間にわたり市内の小中学校の先生方40名が海外に行って研修するという事業にご尽力していただいた、本市において非常に感謝すべき方です。その方がこの度、病気を患いまして、お世話になった方々に感謝の会をしたいと東京で会を開催し、私と市長が参加させていただきました。千人ほどの参加者のもとで会食をしながら安崎さんに変え感謝しておりますとご挨拶ができました。安崎さんには、吉野川市で先生方に子ども達をしっかりと育ててもらって将来世界に羽ばたくような子ども達の育成をお願いしますとのお言葉をいただきました。 12月20日に文理大学と連携協定式ということで、教育委員会だけではなく、本市

事業と教育委員会の事業を含め、大学と協力していくという協定を結びました。できれば、何かのかたちで教育委員会も協力できたらと考えています。

同日、市立川島中学校でキャリア教育発表会がありました。川島小学校と学島小学校の6年生全員、川島中学校の2年生全員、県立川島高校の2年生5名が参加し、職場体験の発表会、川島高校の紹介、最後に社会人として阿部鮮魚店の阿部さん、鴨島公民館指定管理者松島組の松島さん、学で苺農園や養蜂場を営まれている梶浦さんの3名の方が仕事の話をしてくださり、ディスカッションを子どもたちが聞きました。小中高校生が集まって会をするのは、県でも初めての試みで、県の教育委員会の方も来てくれました。今後、このような取り組みを吉野川市内で他校も含めてできたらと感じながら、聴かせていただきました。大変良かったと思います。

12月22日2学期の終業式を無事に終えることができました。本日より冬季休業日に入っている状況です。この後、28日永年勤続表彰と仕事納め式があるという日程となっています。今年、教育委員の皆様にはいろいろとご支援いただきありがとうございました。来年もよろしくお祈りします。

その他についてお願いします。

松原教育次長

成人式と徳島駅伝について、ご案内いたします。

平成30年吉野川市成人式でございますが、来年1月3日鴨島公民館で実施いたします。今回、成人式の対象者の379人の方に案内を出さしていただいております。例年、参加者は、対象者の80～83%で推移しています。日程は、13時からオープニングセレモニーということで恩師のビデオレターを計画しております。委員の皆様方には、12時50分までに受付をお願いしたいと思います。13時40分から式典がございます。式典の内容は、以下に掲載しているとおりでございますが、教育委員会の式辞は、教育長の方からお願いしたいと思います。記念品授与は、川村教育長職務代理者をお願いいたします。式典が終わって、14時20分から集合写真、6地区に分けて撮るわけでございますが、委員の皆様方にも一緒に写真に入りたいと思います。終了は、15時20分を予定しております。

第64回徳島駅伝についてでございますが、冬季合宿を12月28・29日に美郷の湯で実施いたします。必勝祈願は、1月1日元旦に鴨島八幡神社で行います。大会につきましては、1月3日が開会式で、4日から6日までの3日間に開催されます。6日の大会終了後に吉野川市役所に帰ってきまして、解団式、選手慰労会を実施いたします。委員の皆様方には、ご声援等よろしくお祈りいたします。徳島新聞の掲載記事にもありますように、過去10年間の成績が二桁順位がここ数年続いております。今回は、二桁順位脱却ということで、8位を目標に頑張っております。

石川教育長

成人式は1月3日ということで、大変お忙しいと思いますが、よろしくお祈りしたいと思います。徳島駅伝は、しっかり応援をしたいと思っております。その他、何かございませんか。

岡田教育総務課長

次回の定例教育委員会の日程について、1月26日（金）午後2時00分からの開催とさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

一同

異議なし。

岡田教育総務課長

それでは、次回の定例教育委員会は、1月26日（金）午後2時00分から開催させていただきます。

石川教育長

他に何かございませんか。

委員

2点質問なんですけど、今年の吉野川市保健所管内のインフルエンザによる学級閉鎖の状況と教職員の勤務実態についてお願いします。

伊藤副教育長

1点目の学級閉鎖の状況ですが、12月4日から山瀬小学校6年1組、11日に山瀬

幼稚園、学島小学校1年生、鴨島小学校5年1組が学級閉鎖になりました。

続いて、教職員の勤務実態調査は、県の方から報道がありました。本市においても1学期の終わりに調査を行い、結果、県から出されたのとよく似た傾向がありました。県の方からは、抽出ということで吉野川市の小学校1校、中学校1校が入っております。今後、年休の消化、勤務時間をふまえたうえで、健康を損なわれていないか、過重勤務になっていないか点検しながら、できることから対策を考えていきたいと思っております。年休の日数については、1月に勤務報告が出ますので、日数の把握はできるかと思っております。

委員 教職員の悩みや不安、保護者のクレームが強くて困っているとか、学校によっては厳しい状況にあるので教育委員会に持ち込んできた等、過去に問題が起きてから臨時教育委員会があったので、そういうことがないように教育委員会はアンテナを張って、早く対応して欲しいと思います。

伊藤副教育長 今のところ、そのような状況には至っていないところで、学校と保護者等で話し合いを続けている案件はございますが、学校の方で適切に対応しているところです。

石川教育長 校長先生方がよく教育委員会にみえられて、副教育長や課長に相談をされているので、そのなかで概ね解決している感じがします。インフルエンザですが、今のところ4校ということで同じ学校に続けてないということはそこで治まっているのかなという感じがしますが、1月に入っても十分に気をつけなければなりません。

他に何かありますか。ないようですので、以上を持ちまして、吉野川市定例教育委員会を終了いたします。